

第27号

発行 丸橋 齒科「良い歯の会」
発行所 群馬県高崎市栄町21-1
TEL 027-323-9524
FAX 027-322-3139
http://www.maruhashi.com/
E-mail:maruhashi.s@cb.wakwak.com

医・農・智

今を築いてきたもの
絶望に背を向け
本質を問い続けた
いのちの輝きは
思想となり理となりて
生き続ける
心に みえいへん
求める、まだ先にある
いのちの本質
永遠と繋がってゆく
(仁志)

「良い歯の会」機関紙

いのち

理解という妙薬・無知という毒素

良い歯の会の思想を深めた生涯

丸橋 賢

良い歯の会の意味を
ほんとうに知った人



長年の「良い歯の会」の活動が認められた表彰式での渡辺さん

渡辺浅乃文庫

この会の発展に尽くし、この会の生き方そのものを生き、渡辺浅乃さんは五四才の短かすぎる生涯を閉じた。平成二十年、二月十五日の午後六時だった。

渡辺さんの遺品の蔵書の中から、特に愛読していたものを選び、渡辺浅乃文庫を作った。丸橋全入歯科の研修室にあるので、会に参加の時、是非ご覧いただきたい。これを見れば、「良い歯の会」の探求を支えるために必要なものとは何か、よくわかる。彼女はホリスティック医学協会の生活習慣病予防指導士であったので、食や栄養、健康関係の本も当然あるが、最も多いのは詩、文学、哲学関係のものである。特に鮎川信夫、田村隆一、北村太郎など荒地派の詩や詩論、大岡昇平、武田泰淳、野間宏など、第一次戦後派の作品が目立つ。一般的には、この分野で読む人は少ないが、これらの文学者の作品を読んでもしつと、他のものでは物足らなかつたのだと思う。現在の文学に比べ、第二次大戦直後の文学は、ずっと思想的であり、探求的であった。『良い歯の会』が思想的であり、探求的であるためには、これらの読書が不可欠であったのだ。

力の限り「良い歯の会」に

尽くつて

毎回の参加者のアンケートを読めば、その力とは何なのか、よくわかる。多くの人が、この会で何かを発見するのだ。心の奥に眠っていた、いのちそのものが持つ原初の願いとは何であったのか、いのちが求める本物の食とは何なのか、自分らしく、人間らしく生き

とどうしようもないことなのか、人間と地球との関係とは何なのか、参加者は何かを発見し、ときめき、感動を覚えるのである。ほんとうの何かを探求すること、それはまさに哲学的、思想的営為に他ならない。そしてこれこそ他の健康教室には無い、「良い歯の会」の本質なのである。渡辺さんの「良い歯の会」や歯科医療への関わり方は、決して単なるビジネスではなかつた。それらを通しての彼女の生き方の探求であり、主張であつたのだと思う。

十二日の「良い歯の会」には、痛々しいまでに体力を無くし、やつれながら頑張っている姿が見られた。ためつきり言葉も少くなり、立っているのもやつのようだった。一月の「良い歯の会」は特別企画で、今回は前半が短い私の話と患者さん二人の体験発表の後、後半は多種の食品について、自然な本物食品と、一般市販食品の食べ比べ大会だった。いつもより食品の手配や準備が大変で、衰弱した体にはこたえたと思う。しかし、「休んでよいから」「他の人にやってもらおう」と頼んだ方がよい」と言つても、力の限り、自分でやるうと心に決めていた様子だった。「休めば治るわけでもないから」というのが返事だった。

「休んでよいから」「調子の良い時だけ出動するだけでもかまわないから」「長年、頑張つて貢献してきたのだから、遠慮なく療養を優先させなさい」と何回言つても全く聞かず、休むことなく出勤し、その間に通院する生活を続けていた。

年金に見えた心寒い現実

「十分休んでよいから」「調子の良い時だけ出動するだけでもかまわないから」「長年、頑張つて貢献してきたのだから、遠慮なく療養を優先させなさい」と何回言つても全く聞かず、休むことなく出勤し、その間に通院する生活を続けていた。

「九橋のおかげで群馬の指導監査が厳しくなり、収入が減つた。丸橋が補償すべきだ」という低劣な書き込みなどが沢山ある。自分たちが不正請求をしていることを白状しているようなものだ。日本の国の質も悪い。例えば渡辺さんが死んで、姿を見せられず、心寒くさせるものであつた。渡辺さんは個人と法人の合計で一ヶ月計九万円以上の厚生年金を掛けていたが五四才で死ぬと一文も支給されなかつた。見舞いも埋葬費も出ない。可哀相だった。支払われない年金が五千万件もあるそうだが、国は徴収だけは漏れがないように強制的に天引きする。これなら民間の任意に加入した方がよい。税金も、この国は取ることはかりに熱心で、国民の幸せのために使っている。

「東風吹かば香り起こせよ梅の花 主無して春な忘れぞ」

渡辺さんの「苦勞を
忘れません

青木 博之

渡辺さんの訃報が届いたのは、紅白の梅が咲き始める頃だった。診療室で、従業員総出で歯科相談会の準備をしている時だった。思い返せば渡辺さんと丸山のイベントや活動をしてきました。特に思い出に残るのはみかほ高原荘で行われた生態学的臨床セミナーです。これは丸橋院長が歯周病などの歯科疾患を生態学的見地から診断、治療法を解説するセミナーですが、講義の他にも期間中の食事が全て有機野菜や無添加の食品を使った完全手作りであつたことも目玉の一つでした。当然人気を博し日本全国から多くの先生方、スタッフの方が参加して下さいました。その生態学的臨床セミナーを陰で支えていたのが渡辺さんでした。

準備することは限りなくあつたと思いますが、特に神経を使つていたのが食材の管理でした。期間中全ての食材、それも遠方からの取り寄せ品もありましたし、セミナーの期間が8月初めと傷みや辛い時期でもありましたから、大変な苦勞だつたと思います。仕事が終わつて誰もいなくなつた連雀町診療所の1階の倉庫の中でたつた一人汗だくになって食品の整理をしている姿が今でも忘れられません。そんな渡辺さんの姿から多くのことを教られました。

丸橋賢はかインプラント治療班著
インプラントで安心
丸橋賢はかインプラント治療班著
インプラント治療をわかりやすく解説
1,600円

丸橋全入歯科の既刊本

退化する若者たち

歯で守る健康家族

生きる力

歯槽膿漏

新しい歯周病の治し方

歯 悪い治療の見分け方

顎偏位症の治療と予防

インプラントの実際

全人的治癒への道

癒しの思想

感性編

実践編

丸橋 賢 著・春秋社

丸橋全入歯科の既刊本

退化する若者たち

歯で守る健康家族

生きる力

歯槽膿漏

新しい歯周病の治し方

歯 悪い治療の見分け方

顎偏位症の治療と予防

インプラントの実際

全人的治癒への道

癒しの思想

感性編

実践編

丸橋 賢 著・春秋社

丸橋全入歯科の既刊本

退化する若者たち

歯で守る健康家族

生きる力

歯槽膿漏

新しい歯周病の治し方

歯 悪い治療の見分け方

顎偏位症の治療と予防

インプラントの実際

全人的治癒への道

癒しの思想

感性編

実践編

丸橋 賢 著・春秋社

丸橋全入歯科の既刊本

退化する若者たち

歯で守る健康家族

生きる力

歯槽膿漏

新しい歯周病の治し方

歯 悪い治療の見分け方

顎偏位症の治療と予防

インプラントの実際

全人的治癒への道

癒しの思想

感性編

実践編

丸橋 賢 著・春秋社

新刊案内



PHP新書 7/15 発刊予定 756円

丸橋全入歯科の既刊本

退化する若者たち

現代日本人へ臨床現場から緊急提言
歯が予言する日本人の崩壊
PHP新書 丸橋 賢 著 756円

歯で守る健康家族

歯育・食育・治療の決め手
渡辺浅乃 編集
現代書館 丸橋 賢 著 1,575円

生きる力

「いのちの柱」を取り戻せ
退化に抗して健康に生きる
ための4つの原則を紹介
紀伊國屋書店 1,680円

歯槽膿漏

難治歯周病も生活改善で克服できる
丸橋 賢 著 1,260円

新しい歯周病の治し方

全身を治す視点
で歯周病を克服
丸橋 賢 著 1,470円

歯 悪い治療の見分け方

歯科治療の数々の
問題点を解明
丸橋 賢 著 1,530円

顎偏位症の治療と予防

咬み合わせ治療で
頭痛・肩こりを解決
丸橋 賢 著 1,300円

インプラントで安心

インプラント治療
をわかりやすく
解説
丸橋賢はかインプラント治療班著
1,600円

インプラントの実際

あらゆるケースに
対応できる実例を
写真で説明
辻本 仁志 著
農文協 1,400円

全人的治癒への道

丸橋全入歯科の
実践
丸橋 賢 著
1,575円

癒しの思想

いのちを見つめる
視座の原点
丸橋 賢 著
1,995円

全人歯科医療の集大成 患者さんと治す本当の全人歯科医療

丸橋全人歯科 全身咬合学会認定医 亀井 琢正

古代ギリシャの医師ヒポクラテスが二四〇〇年以上前の紀元前の昔、原始的な迷信や呪術と混同された医療を、優れた観察力と洞察をもつて科学的なものへと発展させました。

そのヒポクラテスより科学的に発展した医学は、今日、非常に細分化され高度に分析的になってしまっています。そのため、一部の臓器や病にばかり目が行き、病全体を見ていない風潮があるのは皆さんが周知のとおりです。しかし、ほんとうに治すためには生活習慣や社会環境まで含めて患者さんを見つめ、診断する必要があります。

歯科医療に長年携わる中で

当院長が長年歯科医療に携わる中で、治療しても完全に治らない、対症療法に限界を痛感し、医学の原点に返って患者さんを見つめ直しました。虫歯を治しても、歯磨き指導をしても治療を要する人や、歯周病の処置をしても治りに限界を感じる例が多く、単なる歯科治療の限界を感じたのです。そこで単に歯や歯肉だけの問題なのか、それとも他の大きな問題があるのかという点に行き着いたので、人間を一つの生命体として一度見直し、診断するヒポクラテスが行っていた全人的視点です。ただ単に一部分の原因が問題であればそこだけを治せば治ります。しかし、長年多くの悩みを抱える患者さんは単純で部分的な問題だけを抱えていることは実は非常に少ないのです。

歯周病の診断に

当院では当時の厚生省が歯周病を生活習慣病と認定するかなり以前から生活由来性疾患として歯周病の治療を行ってきました。例えば診断時に顔色や皮膚、爪の色そしてそれらの質感から見られる生命力を観察し、診断の材料にすることです。まさに全人的視点です。例として歯周病では単純に不

衛生で歯周病に悩んでいる人は実は少数なのです。本当に不潔であることだけが原因で歯周病に悩んでいる人は、清潔にしてあげればたちどころによく治ります。しかし歯周病は、歯磨きだけでは改善せず、多くは他に大きな原因があるのです。その一つは外傷性咬合と呼ばれるもので、歯に暴力的な力が加わることで歯を支える骨に負担がきて炎症を起す場合です。これは治療で歯に加わる力のコントロールを正しく行えば改善します。しかしそれ以上に重要で大きな問題があることが多く、それは生活習慣なのです。

歯周病と食生活

食生活が乱れ外食や偏食が多い方は、歯を支える歯肉や骨の活性が低下し歯周病が進行しやすく、治療してもなかなか良くは治りません。喫煙者もタバコによる血管の収縮により十分な栄養供給が歯肉に届かず歯周病を進行させます。また仕事が忙しくストレスが多い方や徹夜が多い方はレントゲンで見ると骨の表面がぼぼぼと目にするのがよくあります。そういう方々を初めからその人の皮膚や顔の質感、色など目で見ただけで生命力をつかみ診断していくのが歯周病治療では大変役に立っています。

食生活などが乱れている人に対しては、治療と並行して生活習慣病予防指導士の資格を持つていた当院の渡辺さんが中心となって生活指導を行いました。また今年で二年目を迎える「良い歯の会」は当院の患者さんだけでなく、どなたでも無料で参加できる会です。全人医療を患者さんと共に実践するための大変意味のある会に類を見ないものです。まさに「良い歯の会」は当院の全人医療の大きな柱の一つなのです。この中でも試食会を中心とした企画に永い間

渡辺さんが携わって来ました。近年咬み合わせの問題を抱えて来院の方が増えています。肩凝りや腰痛を訴える方から重度になるとかなり精神的に参っている人も見られます。

生活習慣と咬み合わせ

咬み合わせの問題のある人の傾向は、顎が細く歯の生えるスペースが不足しているために、きれいに並びきらずに咬み合わせを悪くしていることです。つまり咬み合わせが悪いのは歯が悪いのではなく顎の骨の形が悪いのです。この顎の骨の問題は、食生活由来する後天的な要素が大きく、現代の柔らかい物を食べるようになった世代から急速に増加しています。咬み合わせの治療においても、全人的視点が欠かせません。その人の姿勢をみて咬み合わせのずれを診ていくのはもちろんのこと、全身の筋肉量も咬み合わせ治療の診断に重要なポイントです。咬み合わせのずれは顎のずれを引き起こします。特に下顎は頭のバランスの役目があり、これがずれると頭が傾き、ひいては姿勢が乱れます。筋肉量が多ければ多少の顎のずれも支えてくれますが、筋肉量が不足するとそれに任せて姿勢が乱れます。この咬み合わせのずれは徐々に全身の骨格の歪みを促し、不要な筋の緊張や神経の圧迫などを生じさせ、様々な不定愁訴を引き起こします。奥歯が磨耗したり、なくなったりすれば腰痛になりやすくなり、咬み合わせが片方にずれていけば体の重心が傾くため、股関節やひざの痛みを訴えやすくなります。また、持続的な咬み合わせのストレスによる無意識の緊張状態が続くことで自律神経の不調和を起すこともわかつています。

この様に口の中の健康と全身との関わりは大変深く、それを読み取ることで生きる力をもつ一度蘇らせる、質の高い全人医療を達成できるのです。

「退化する若者たち」に反響続々

東京大学より講演依頼を受け

若者の体力・気力の低下や不登校、二トが食べものやしつけと関連付けて述べられることはよくあるが、治療現場の現実から、生物学的な顎の退化と関係していることを鋭く考察し、警鐘を鳴らした一冊「退化する若者たち」が発売以来反響を呼んでいる。



東大での講演後、参加した有識者の方々から質問を受ける丸橋院長

本を読んでも興味をもつた東京大学大学院の山田茂准教授より依頼を受け、二〇〇八年三月二五日、丸橋院長が東京大学教養学部にて講演を行った。山田准教授をはじめ東大教授六名の他、大阪大学、順天堂大学の教授など二〇名ほどで構成される「子どもの健康を求めて」指導者協議会という研究グループから依頼されたものだ。教科書作りや授業のあり方について文部科学省に意見書を提出しているこの研究グループは、丸橋院長が本の中で、最近の日本の若者の身心的変化が生物学的な退化

に起因しているという独自の意見を、歯科の臨床経験や日本人の変遷・戦後の文化的崩壊と共に考察している点に興味を持ったため講演を依頼してきたものだ。「若年者に起きている生物学的異変と対策」というテーマで講演を行い、講演後には幾つもの質問が飛び交うほどの盛り上がりがあった。

28年目を迎えた良い歯の会 良い歯の会に参加しましょう！ (ご案内)

- 日時 毎月第2土曜日 午後1時30分～5時
- 場所 丸橋全人歯科3階研修室
- 内容 4回連続参加で1シリーズ

	内 容	開 催 月
①	環境と人間の生き方を考える	1月 5月 9月
②	ムシバ予防を中心に家族を考える	2月 6月 10月
③	歯周病と生活習慣病を克服しよう	3月 7月 11月
④	退化病と闘う	4月 8月 12月

■定員 60人(入場無料)

ご家族、お友達などお誘い合わせのうえ、ご参加ください。その他、試食会(本物食品と市販食品の食べ比べやおすすめメニュー紹介など)も行っています。
http://www.maruhashi.com/
お電話でご予約ください。☎027-323-9524。
※毎月第2土曜日開催が原則ですが、祝日・夏期休暇等と重なる場合は第1か第3土曜日に変更となります。詳しくはお問い合わせください。
※各グループなどで、講演のご希望があればご連絡ください。

「良い歯の会」に参加された方の感動の声

今回初めて参加させて頂きましたが、院長先生のあらゆる方面への造詣の深さに夢中に話を聞き、スライドも少し難しいテーマから身近なテーマと切り口が面白く構成が工夫されていて最後まで関心を持ってお話が聞けました。試食会も漬物を同時に食べ比べて初めて市販のものとの違いが良く分かりました。ご飯も山菜も新鮮さが伝わりおいしかったです。ありがとうございました。(37歳・男性)

単純に歯の治療は歯科的治療で良いと思っておりましたが、お話を伺い正しい本物の食品をとる事は勿論、心のあり方や考え方等、色々勉強となりました。(61歳・女性)

試食会ではかつて母が作ってくれた料理を思い出しました。日本の昔からの食材にはすぐれたものが多いことを実感しました。そして手作りのものは栄養素以外の美味の素がたっぷりつまっていました。お心遣いありがとうございました。(62歳・女性)

編集後記

院内研修で有機栽培の農場を見学した。本物を見た瞬間、その野菜の色艶や葉の厚み、質感の違いが歴然としていて衝撃を受けた。味も格段に異なる。本物を見れば偽物との差がはつきりと認識できる。自分を変えるのに十分な動機付けができるのだ。

二七年間、そして最後には病を押してまで渡辺さんが「良い歯の会」の食べ比べ会でご伝えてきた、世俗に流されず、本物・本質を見る目を患者さんに伝えていかなければと思います。(辻本仁志)



来場者の歯科相談を受けるスタッフ

「良い歯の会」
歯科健康相談と
ミニ講演会開催
二〇〇八年三月十六日(日)、丸橋全人歯科において歯科健康相談とミニ講演会を開催した。総計で二五九名と予想を大きく上回る方々の参加があり、当院のドクター・スタッフが歯科治療に対する相談に答えた。

また、「咬合治療の実際」、「矯正治療の実際」、「インプラント・造骨治療の実際」と題し、専門のドクターによる三〇分程のミニ講演も行なった。丸橋全人歯科での治療の実際をわかりやすく解説したこの講演には、多くの人がためかいた。

一方、一階フロアでは歯周病や矯正、インプラントなど治療のパネル展示のほか、口臭測定や骨密度測定等も行い、来場者の人気を集めた。

参加者の相談内容を聞きながら、治療すれば問題なく治癒する単純な例で悩んだり、治療に不安や疑問をもっている方がいかに多いかを思い知らされた一日となった。